

平成 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	岡谷発新しい絹文化を未来へ
事業主体 (連絡先)	NPO 法人 シルク文化協会 〒394-0003 長野県岡谷市加茂町 1-7-32 宮坂雄二方
事業区分	(3)教育・文化・スポーツの振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,281,990 円 (うち支援金：1,011,000 円)



事業内容

- ・日本絹文化フォーラム 2017 を開催
岡谷商工会議所講堂の会場は 324 名の参加者で超満席になり盛況であった。絹に関心を持つ市民をはじめ市内外のシルク関係者が集まり、改めて関心の高さが認識され、継続的開催の希望や内容に関する要望が出され成功裏に終わった。
- ・SUWA ブランドの創出と試作
織り講習会を開講し、シルク製品の試作を行った。
前期縄文織りと板織り初級講座
6月～8月 原村自然文化園会場 14回延べ100人
後期板織り初級・中級・上級講座
8月～12月 岡谷カルチャーセンター会場 10回130人



【板織り講習会場：岡谷市カルチャーセンター】

事業効果

- ① 絹に関するさまざまな分野の業者や研究者、製作者とその希望者が大勢参集し、新しい糸や織り・染めの技術など、絹文化に関する情報交換を求める声が多く寄せられ、継続的開催の希望が多かったことは大きな成果であった。
- ② 織り技術の習得とより高度の技術を学び、新しい糸による試作に入り始めることができたため、試作品の完成に手ごたえを感じることができた。
- ③ よりわかりやすい内容のフォーラムや各種講習会の希望が出されたことは、今後の活動に励みとなった

【目標・ねらい】

- ① フォーラム開催事業の継続
- ② 板織り・縄文織りの技術の習得と新しい糸による試作
- ③ 絹を使う側から絹文化の魅力を広める

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・フォーラム参加者は当初予定より 60%の増であった。
- ・参加者から様々な要望が出され期待の多きいことがわかった。
- ・織りの講習は前期 12 人、後期 18 人と、当初の目標に達した。

今後の取り組み

絹文化フォーラムを継続して開催していくためには、より大勢の関係者や市民の参加が必要である。やさしい、魅力ある内容の、絹を使う側の人に参加しやすい内容を工夫して、また様々な分野の絹愛好者の求める情報を配信・交換できる場、さまざまな活動を進める人の交流の場を提供して、開催が継続できるように努力を重ねていきたい。

SUWA ブランドの創出は、伝統技術の上に、斬新なデザインとシルクの持つ特徴的な色彩を生かした作品、新しい糸による特徴的なオンリーワンの作品の完成をめざして、試作を進める

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)

岡谷市文化祭の板織り作品展示会



縄文織り・板織り講習会 原村自然文化園



縄文織作品：マフラー

板織り作品



藍染のベスト後ろ見ごろ



キビソ太糸のベスト



ポシェット